

「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」成果発表会

開催要項

1. 開催日時及び方法

日時：令和5年1月20日（金）10時00分～16時15分（予定）

方法：オンライン配信（Zoom）※第I部についてはYouTube配信も実施

2. 趣旨

選挙権年齢及び成年年齢が18歳以上に引き下げられ、児童生徒にとって政治や社会が一層身近になっています。こうした背景も踏まえ、文部科学省では、小・中・高等学校等において、児童生徒に持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識や社会形成に参画する態度等を育むことをねらいとして、地域や現実社会における諸課題を追究したり解決したりする実践的な学習プログラムの開発に係る本実践研究事業を実施してまいりました。

成果発表会を通じて、成果を普及することによって、各都道府県・指定都市教育委員会等及び各学校における取組を促し、主権者として必要な資質・能力を育む教育の一層の推進を図りたいと考えております。

3. 日程

時間	内容
10：00～10：10	開会挨拶・趣旨説明
<第I部> 10：10～12：20	成果発表（6団体） 10：10～11：10 (1)大阪府教育委員会 (2)千葉大学 (3)信州大学 11：20～12：20 (4)香川大学 (5)東京学芸大学 (6)北海道教育委員会
12：20～13：30	休憩
13：30～14：30	成果発表（3団体） (7)静岡県教育委員会 (8)三重県教育委員会 (9)徳島県教育委員会
<第II部> 14：45～15：45	テーマ別グループセッション 「主権者として必要な資質・能力の育成」 グループ①小・中学校：((1)～(5)の受託団体) グループ②高等学校：((6)～(9)の受託団体)
16：00～16：15	講評
16：15	閉会